

小泉商事株式会社



代表取締役社長
鈴木 郁夫氏

●企業の概要

企業名：小泉商事株式会社

代表者：代表取締役社長 鈴木 郁夫

住所：大崎市古川飯川字十文字33番地

設立年：昭和43年（創業：明治25年）

業種：農薬および農業関連資材卸売業

資本金：70百万円

従業員数：130名

●事業の概要

明治25年に小泉薬局として創業。昭和3年に農薬の取り扱いをはじめて以来、地域に密着した営業を展開し、東北地方の農業生産技術の向上に取り組む。現在は農薬・肥料・農業関連資材の販売等を行う「アグリ事業部門」と産業用無人ヘリコプターの販売や無人ヘリコプターを使用した農薬散布サービスの提供等を行う「グリーンスカイ事業部門」の2つの事業部門を持ち、宮城県・岩手県・秋田県・山形県・福島県の5県に13営業所を置き、事業を展開。



本社



産業用無人ヘリコプター

産業用無人ヘリコプターを活用した「農薬散布」「モミの直播」により農業の生産性を飛躍的に向上させるイノベーションを実現、農業や地域経済の活性化に大きく貢献



当社取り扱い商品



農薬散布



ガレキ消毒作業



モミの鉄コーティング

●受賞の理由

農業を取り巻く環境は益々厳しさを増しており、その中で農業の活性化のためには、農家の高齢化や後継者不足は深刻な問題であり、作業の省力化およびコスト削減が不可欠である。当社は、農薬および農業関連資材の卸売業として事業展開し、農業の活性化に尽力。さらに近年では、東北地方の中心作物である米作りにおいて、作業の省力化およびコスト削減により生産性を飛躍的に向上させるイノベーションを起こし、高い評価を受けている。

病害虫から作物を守るために使用される農薬散布は、米の安定生産のためには欠かすことのできない作業であるが、従来、手作業で行われているため、非常に大きな労力が必要とされてきた。当社はこの課題を解決するために、東北の大規模農業に適した産業用「無人」ヘリコプターを活用した農薬の散布の実用化を他社に先駆けて取り組んだ結果、作業の省力化およびコスト削減を実現した。また、育苗および田植えも大きな比重を占めており、その作業を省略するため、モミを鉄コーティングする技術を使用し、産業用「無人」ヘリコプターを活用したモミの直播じかまきに取り組んだ結果、省力化およびコスト削減を実現した。

これらのイノベーションは、米作りの生産性を飛躍的に向上させたことに加え、価格の安い輸入米と競争できるほどのコストダウンを実現させ、農業分野の活性化に大きく貢献している。

また、東日本大震災後には産業用無人ヘリコプターの技術を活用し、瓦礫により対応が困難な被災農地において、農地の再生へ向けて除草剤の散布や空中放射線量の計測を行う等、復旧・復興活動にも大きく貢献している。

当社は、昭和初期より東北の中心産業である農業を支え、生産性の向上に向けた取り組みを行うことで、農業分野の活性化、地域経済の活性化に大きく貢献しており、高く評価できる。東北の農業を牽引し、今後一層の飛躍が期待できる企業である。